

市 民 の 予 算

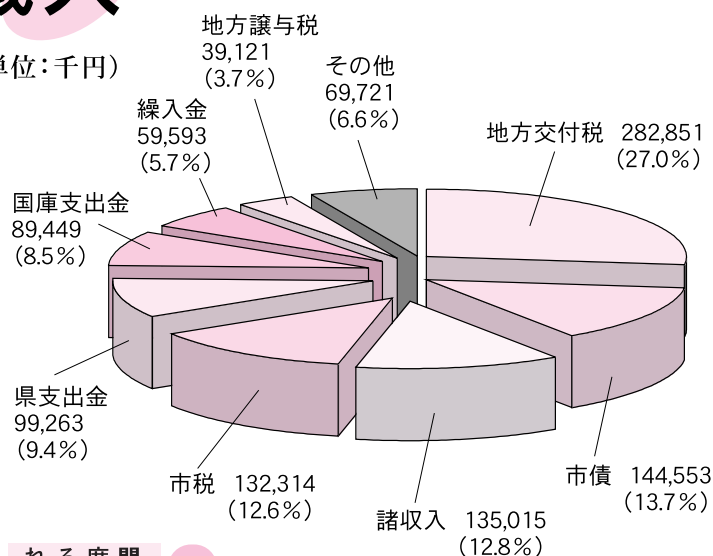
億 7 6 3 5 万 円

の充実をはじめ、住民に身近な社会資本の整備、
をしていきます

億 1,880 万円

歳入

(単位:千円)



問 小型合併浄化槽設置補助金、高度処理型合併浄化槽設置補助金とあるが、旧麻生町は高度処理型でなければ補助金が出ないと聞いていたが。

問 鳥インフルエンザの対策は、総合的にどう考えているのか。

農 林 水 産 費

ない。旧玉造町は北浦に接していない関係で、玉造地区のみ小型合併浄化槽設置の補助対象の部分がある。

衛 生 費

企業会計

(単位:千円)

会 計 別	本年度予算額
水 道 事 業 会 計	9 6 , 0 9 2
白 帆 荘 運 営 事 業 会 計	1 3 , 7 1 3

ひとくちメモ

白帆荘の宿泊総数は、5,848人
(平成16年度)
水辺の宿だけあって、夏場の宿泊者が多い

特別会計

(単位:千円)

会 計 別	本年度予算額
国民健康保険特別会計	2 9 3 , 3 3 0
老人保健特別会計	2 2 3 , 8 1 0
介護保険特別会計	1 3 1 , 7 4 0
農業集落排水事業特別会計	2 1 , 0 7 0
特定環境保全公共下水道事業特別会計	4 6 , 7 5 0
流域関連公共下水道事業特別会計	4 9 , 2 5 0

ひとくちメモ

介護認定者数は、1,377人
うち在宅においてサービスを受ける人が777人
約7割が在宅で介護している

11月
定例会

18日~30日

新市誕生後、初の定例会となる平成17年第1回行方市議会定例会が、11月18日から30日までの13日間の会期で開催されました。行方市本予算となる、平成17年度一般会計・特別会計を中心に、専決の承認案2件、諮問案1件、条例案9件、予算案9件(二部訂正)、同意案3件、選挙1件、その他5件の計30議案が提出され、慎重なる審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。一般質問には、8名が登壇し、市政全般にわたり白熱した議論が展開されました。

これが行方

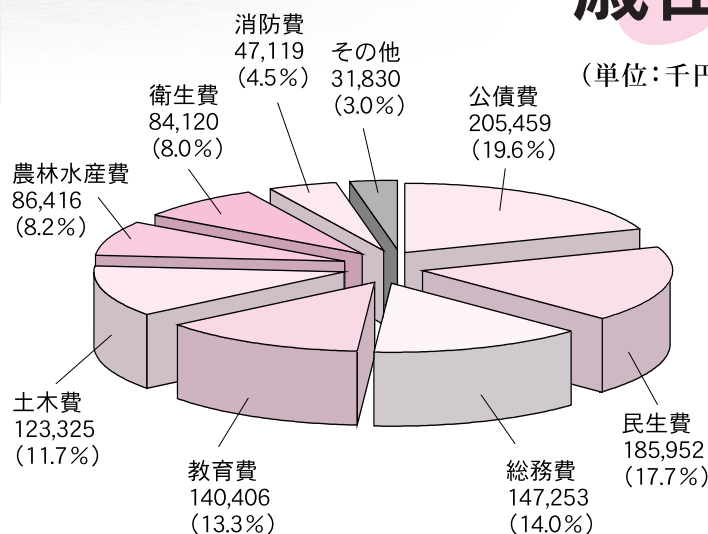
予算総額 192

少子・高齢化社会に対応した総合的な福祉施策
災害に強い安全な町づくり等の重要課題の推進

一般会計 105

歳出

(単位:千円)



こんな質問がありました。

(掲載されているのは質問の一部を要約したものです)

畜産関係だけでなく、野菜にも影響が出るようなこともあるので、対策は間違いないように、検査も正確に実施するように要望する。

答 玉造地区の3農場で、鳥インフルエンザの抗体が見つかった。県の方で、養鶏業者に対して運転資金等の融資を行うという。県内で発生した型は、弱毒性タイプであるが、変異をして、人にうつるのではないかという部分もあるかと思う。死亡者が出た中国等と、生活環境が違うが、そういうこともあるので、市内の該当する業者の状況を見ながら対応したい。

民生費

問 「広報たまつくり」の盲人用テープは、行方市になってどのような方向にすすむのか。

答 行方市すべての地域で同じような形で出来るように、次年度の予算では配慮する。

問 国の機関委任事務である生活保護費の負担割合は。

答 国が4分の3、市が4分の1である。

教育費

問 旧玉造町で行っていた中学生のホームステイ事業の今までの経緯と平成18年度に向けての考えは。未来を背負う子どもたちに外国に対する考え方や視線をどんどん教育していかなければならない時代、この事業は行方市にとって必要である。

答 この事業は、中学生を海外に派遣して、語学研修とその国の文化、風習等の国際感覚を養うことを目的として行われていた。今年度は、オーストラリアに10日間、玉造中2学年の生徒が24名参加した。生徒の負担した額は、費用の4分の1、7万3千円ほど負担した。今後平成18年度以降も、継続していく方向で話し合っているが、人数等については予算の面もあるが、これから詰めていきたい。

問 教育施設のアスベスト調査について教えていただきたい。

答 小学校18校、中学校4校、幼稚園11園、公民館等合わせて59施設調査した。

総務費

問 市職員の給与の調整だけではなく、給与全体について、専門機関に一度諮ってみる必要があるのでは。

答 職員の給与の調整に合わせて調査も依頼してみるのが、小さな自治体では非常に難しいので、人事院制度に準用し、給与表を作成している。

問 公共施設アスベスト調査業務委託料3百万についての詳細は。

答 地方公共団体が所有する建物(教育関係は除く)における吹き付けアスベスト等使用状況及びその処理の状況について、実態を把握することを目的としている。調査内容は、平成8年度以前の建物の設計図書及び目視による調査である。平成17年9月20日から25日間、麻生庁舎をはじめとする67か所の調査をし、指摘箇所については、再調査を続けている。

問 新庁舎の建設について、検討委員会や準備委員会等の予算についてどのように考えているのか。

答 今年度は、内部検討ということとで予算の計上はしていない。平成18年度には、早急に委員会等必要なものを立ち上げるので、予算に組んでいきたい。



旧玉造町で行っていた中学生海外派遣研修事業